

## ★スチバーガの手足症候群に使うお薬について

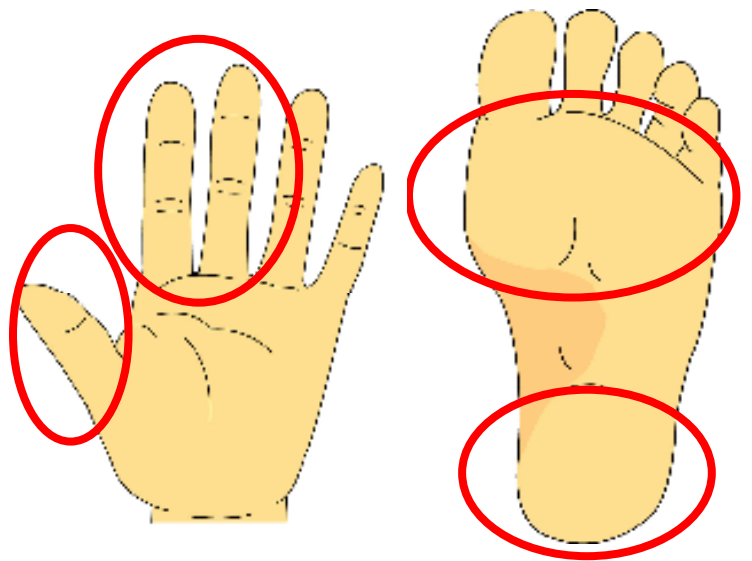
スチバーガを服用すると高頻度で、手のひらや足の裏の皮膚に対する症状が現れてきます。  
以下にお薬の使用方法和日常生活で注意する点についてご説明します。

### 〈できやすい場所〉

刺激を受けやすいところ

圧力のかかるところ

角質の厚いところ



### 〈予防〉

手足の皮膚症状は、かたくなっている部位やカサカサしている部位に現れます。皮膚をやわらかくする効果のある保湿剤をぬることによって、皮膚症状を予防していくことが大切です。こまめに保湿剤を塗りましょう。また、厚手の靴下・綿の手袋をするとより効果的です。

### ケラチナミンコーワクリーム (保湿剤)



1日2～3回（朝、入浴後など）を目安に  
手のひら・指先や足の裏にぬりましょう。  
特に、カサカサしている部位・かたくなっている  
部位は念入りにぬって下さい。

\* ひび割れのある部位にケラチナミンをぬると、  
しみることがありますので、ぬらないようにして下さい。

## <治療（症状がでたとき）>

炎症や痛みをやわらげるお薬を使います。

### マイザー軟膏 (ステロイド軟膏)



1日2～3回（朝、入浴後など）を目安にひび割れや水疱などの症状や痛みのある部位にぬりましょう。べたつかない程度にのばして下さい。症状によっては、より強いお薬（デルモベートなど）を使うことがあります。

## <日常生活における注意点>

### ポイント!

- ①**圧力**を避ける。
- ②**刺激**を避ける。
- ③**保護**する。

例えば…

- ・手や足に負担のかかる運動や作業は控えましょう。  
（例：ジョギング、ゴルフ、包丁仕事、庭仕事、雑巾絞りなど）
- ・窮屈な靴を避け、柔らかい中敷を使用して足を保護しましょう。  
（例：ハイヒール、硬い革靴など）
- ・軽石で無理に角質を削ることは、逆効果になることがありますので避けましょう。
- ・手と足を熱いお湯にさらす時間を減らしましょう。
- ・洗剤などの刺激性の化学物質に触れる際は、ゴム手袋を着用しましょう。

副作用が現れたとき（いつもと違うと感じたとき）には我慢することなく、医師・薬剤師・看護師にお知らせください。